

空と窓と、

京都の水族館はペンギンで一杯です



わたしの中では、“京都”と“水族館”がどうしてもマッチしない。

、、、カッパでもいるのか？いたとしても見たくは無いが。



ちなみに動物園は随分昔からある。
ほのぼのとした遊具のある、とても和むいい動物園だ。



新しい。きれい。

でも、どこぞの社屋ビルとどんだけちがうねん？と問えば、大差ないと思う。

多分、あまり夢の無い人が、現実的な線をひいちゃったんだろう。

ちょっとワクワク感に欠けるのが残念だなあ。

大阪の海遊館は、アホなデザインだけど意気込みは良い。



京都の市電が。
初めて見た。
オデコがまるっとしてて、かわいい。



前には広い公園。近くに梅小路の蒸気機関車館もある。
近々、交通科学館もできるんだっけ。

アクセスはいまいち。雨の日は辛いかも。
でも、大阪南港や須磨海岸や鳥羽に行くことを思えば全然近い！



これは男子トイレの壁。たかがトイレの壁にこのタイル貼り。
内装ほんと綺麗です。



鴨川上流をイメージしたジオラマ
いまの小学生の100人に1人も
こういうところに行った事ないんだらうな。

いろんな植生も再現されていて、雰囲気があります。



こんな魚も泳いでいるし、、、

心臓の弱い人は、少し離れて次の写真を見てください。

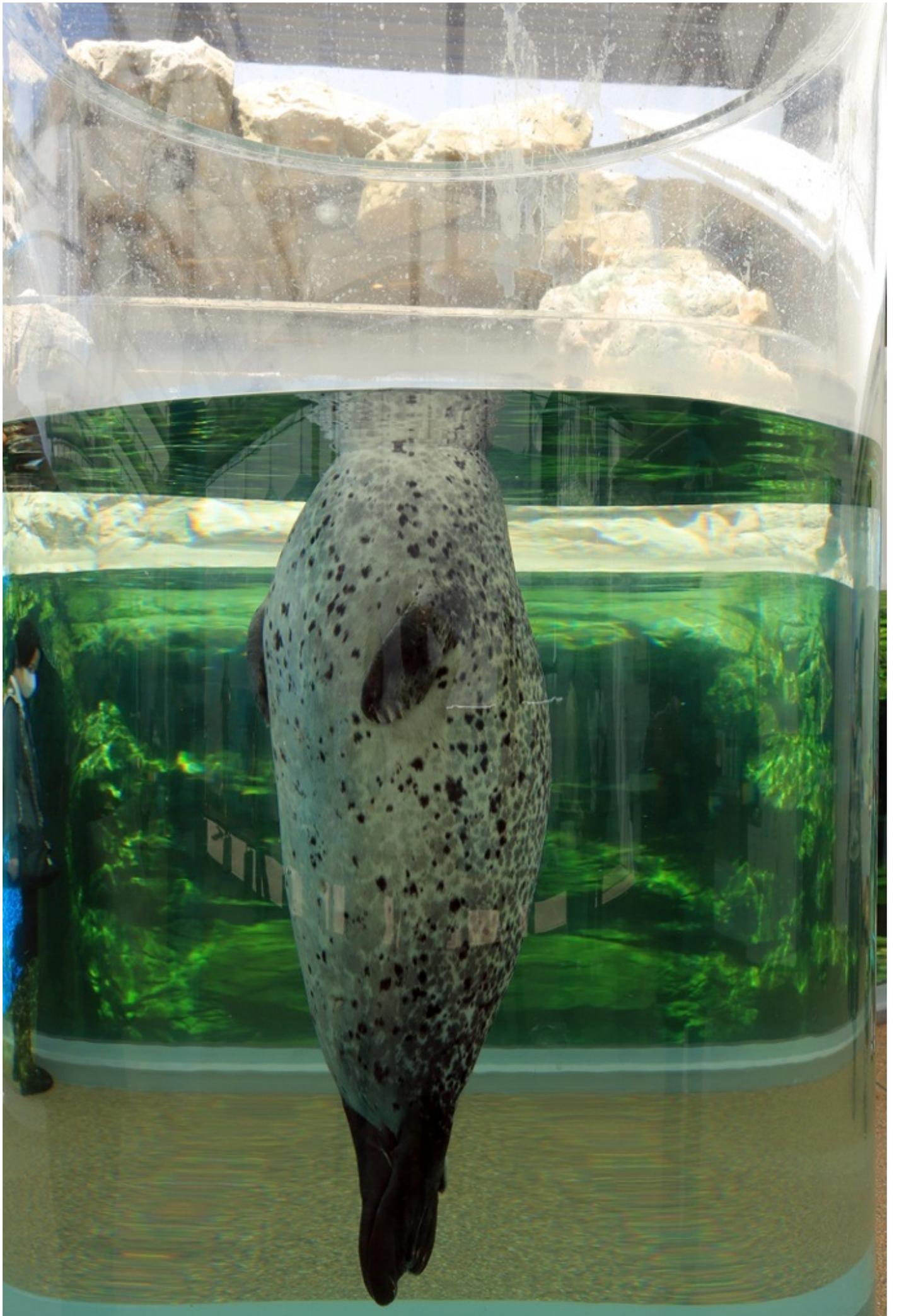


こーんな特別天然記念物もいるし、、、っているか、こんなの！

しかもいろんな種類、、、展示しなくていいわ、もう。

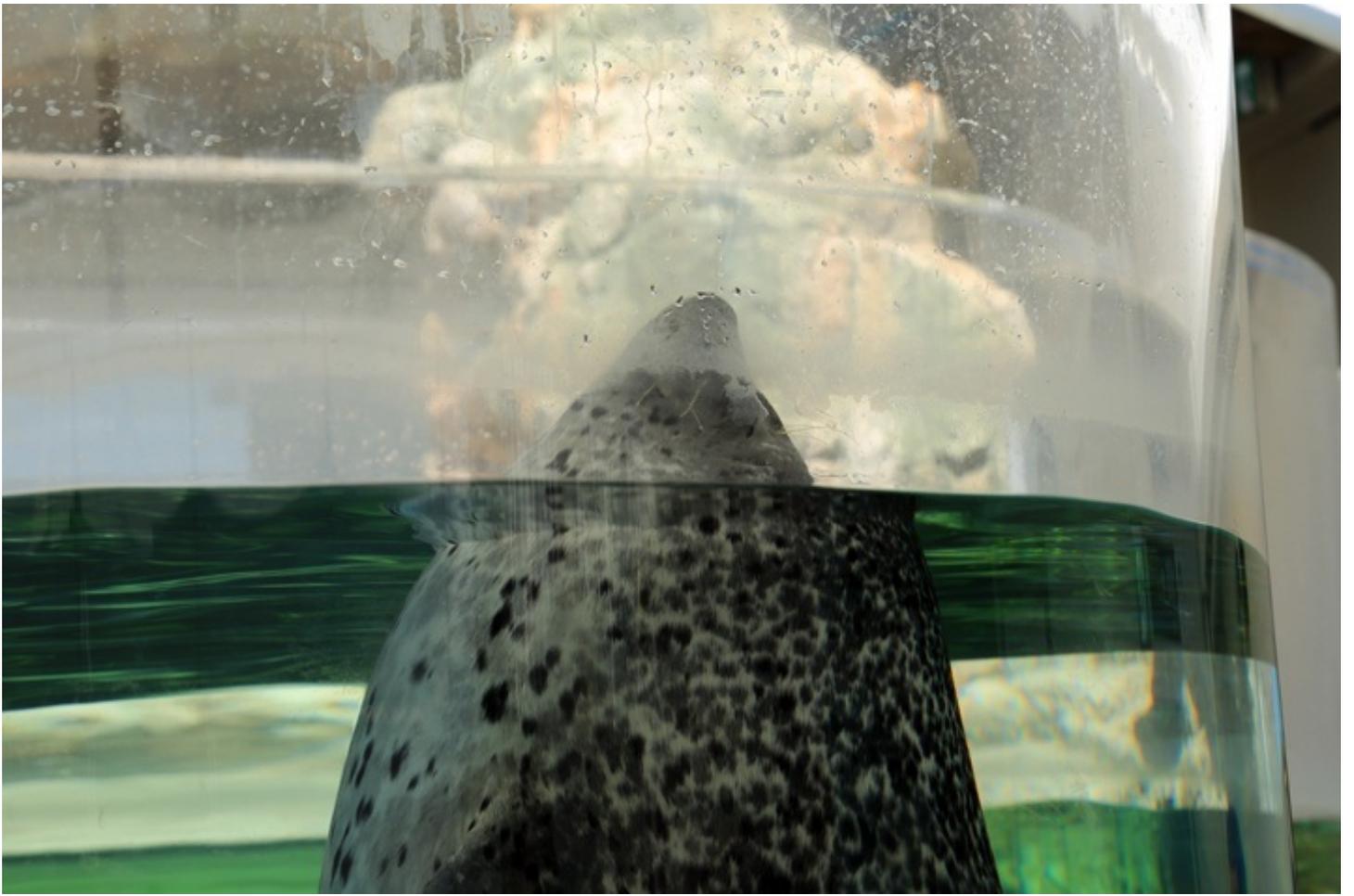


多分マス。食べられるヤツ。



アントルシャ？

にしては太いか。



よくわかんないけど、気持ち良さそう。



むっふー、って感じ。



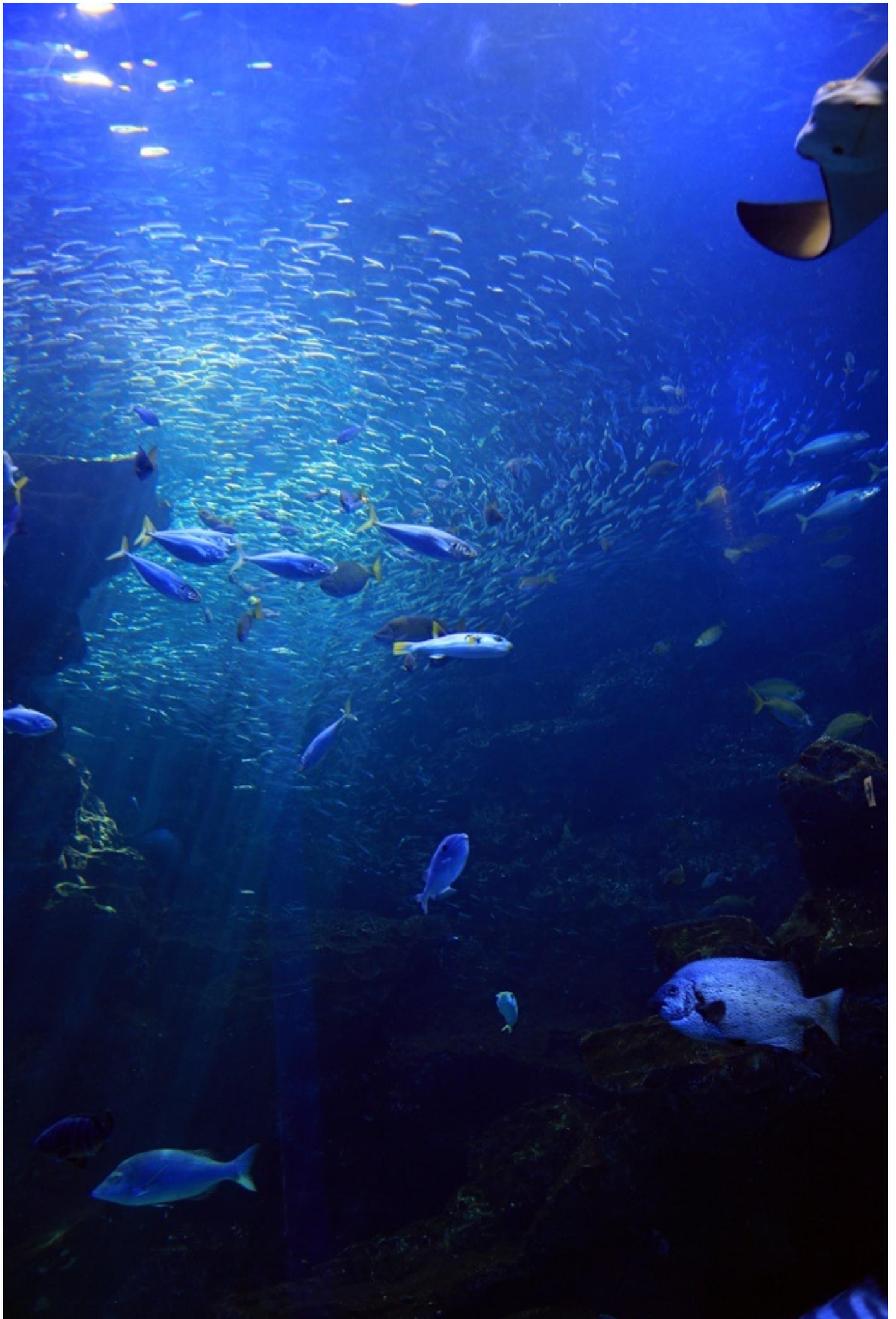
日向ぼっこして寝てるのばかりじゃなくて、
元気に泳いでいるのもありました。
しかし、まあ、なんでこんなに狭いところに。



下からみれます！



泳いでる、泳いでる！
ちょうどランチタイムだったらしく、餌もらってました。



さてさて、大水槽。



ボク、首大丈夫か。



うーん、この不細工さが大好き。



大阪海遊館や美ら海の大水槽には及びませんが、
雰囲気もあり、ゆっくり見ていたい気になります。



きりっ！男前。



かなりそばで見ることが出来ます。
お腹に水滴が。





魚名は水族館が好きです。
なんだか夢の国に来たような気がして来る。

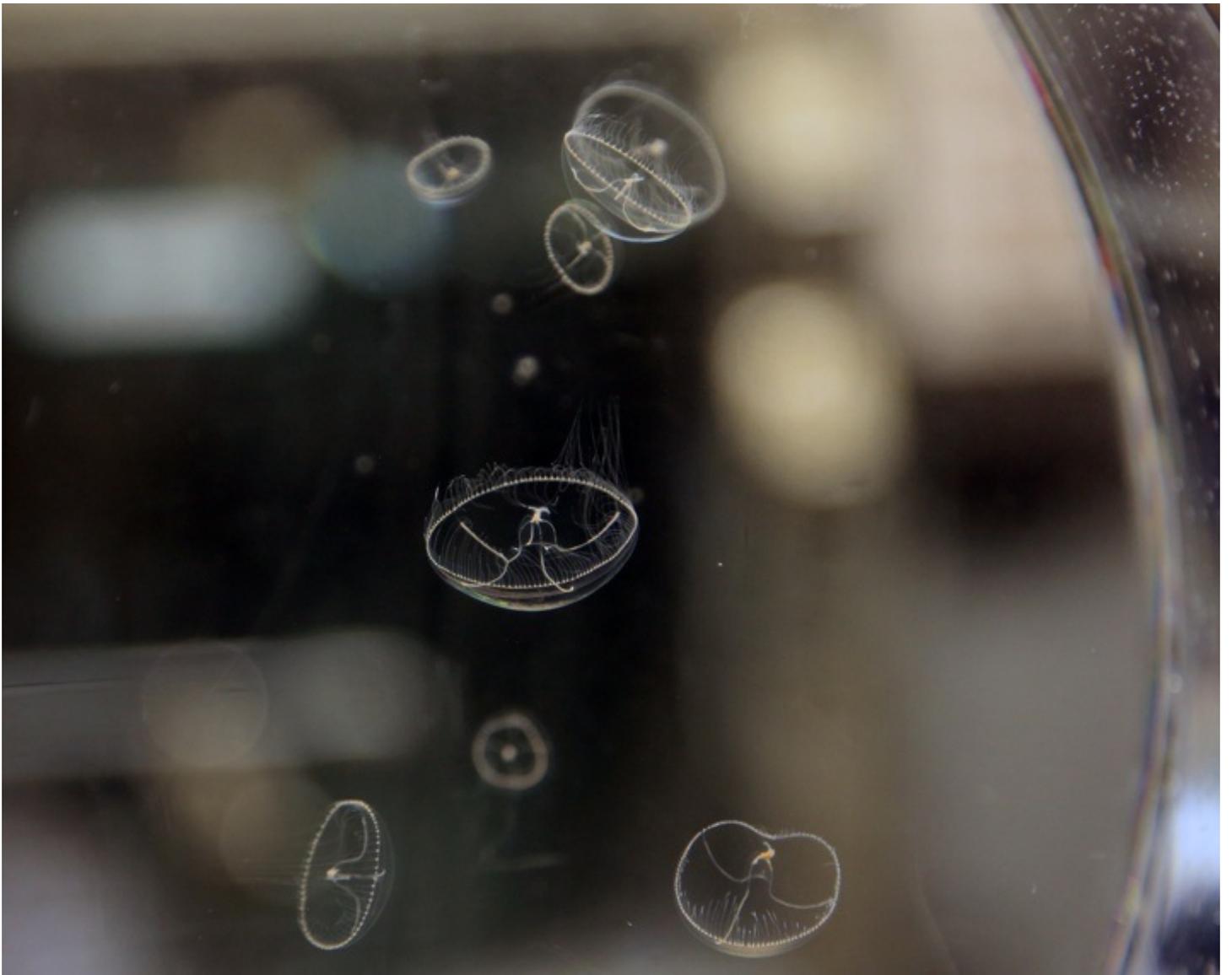


魚はかわいいのより、変顔のほうがいいですね。



こいつなんだっけ？
藤壺？イソギンチャク？





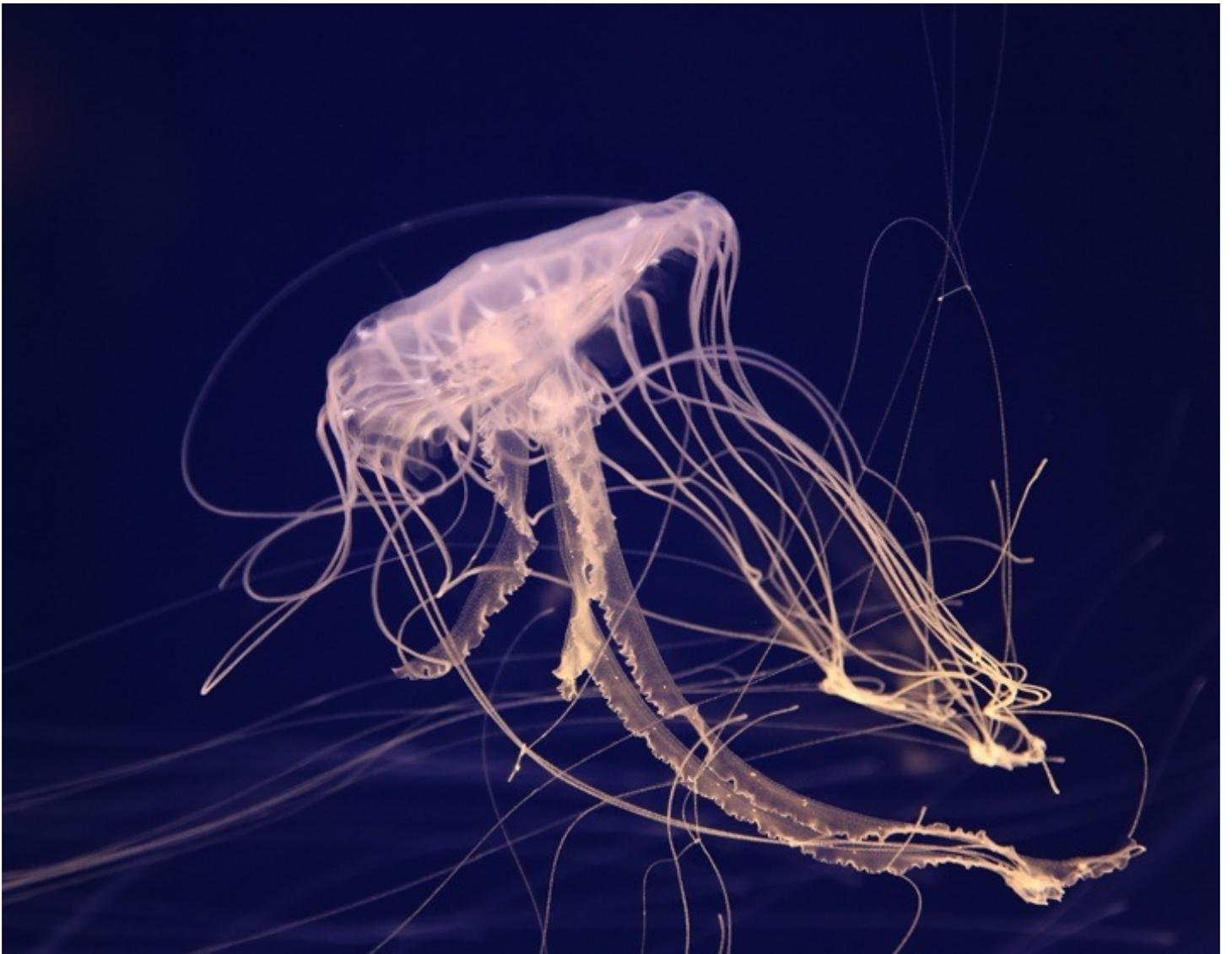
直径3 cmぐらいのかわいいクラゲ。



うーん、海の中では会いたくない。



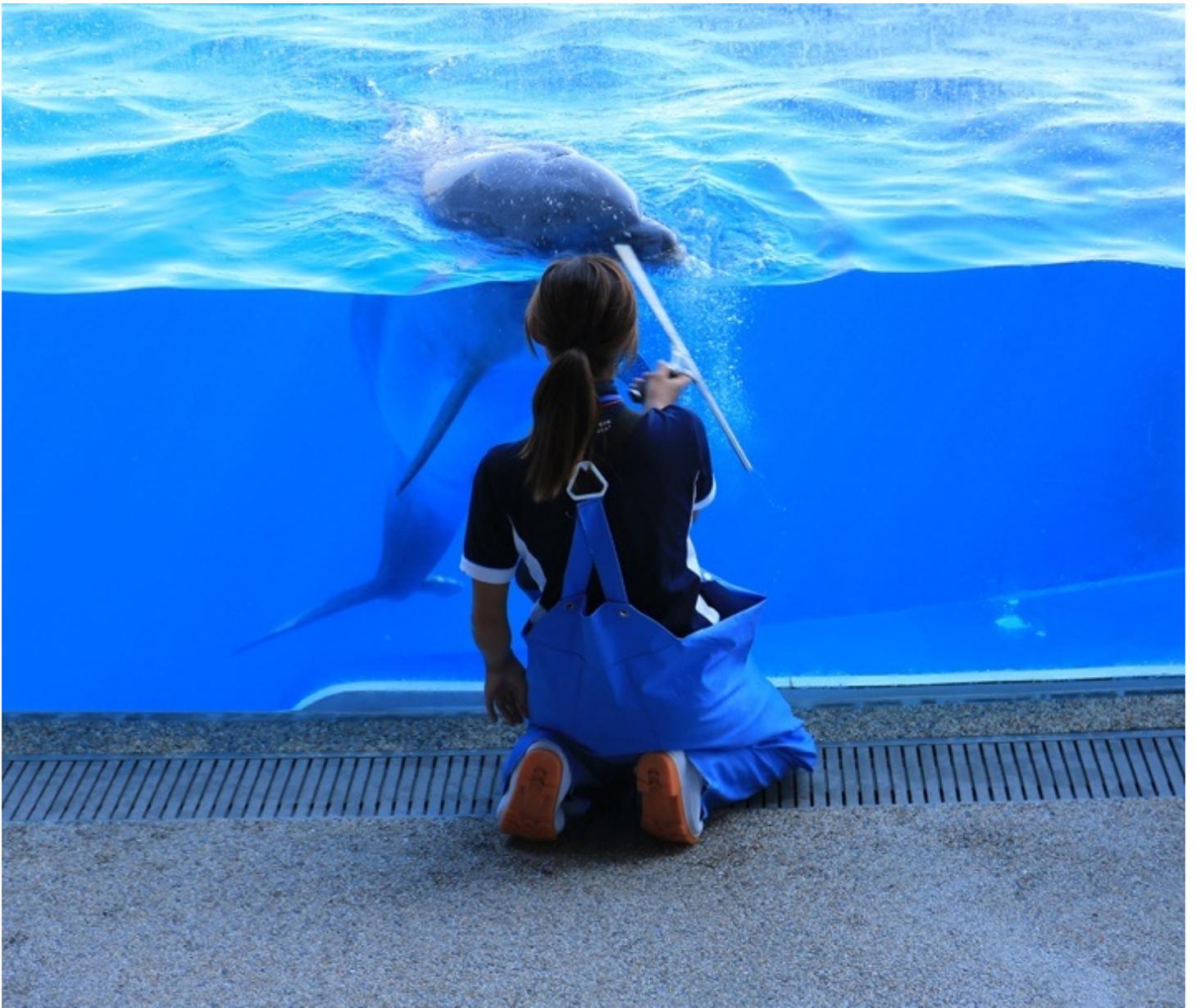
ひかっている実物で見るの始めて。



海月。

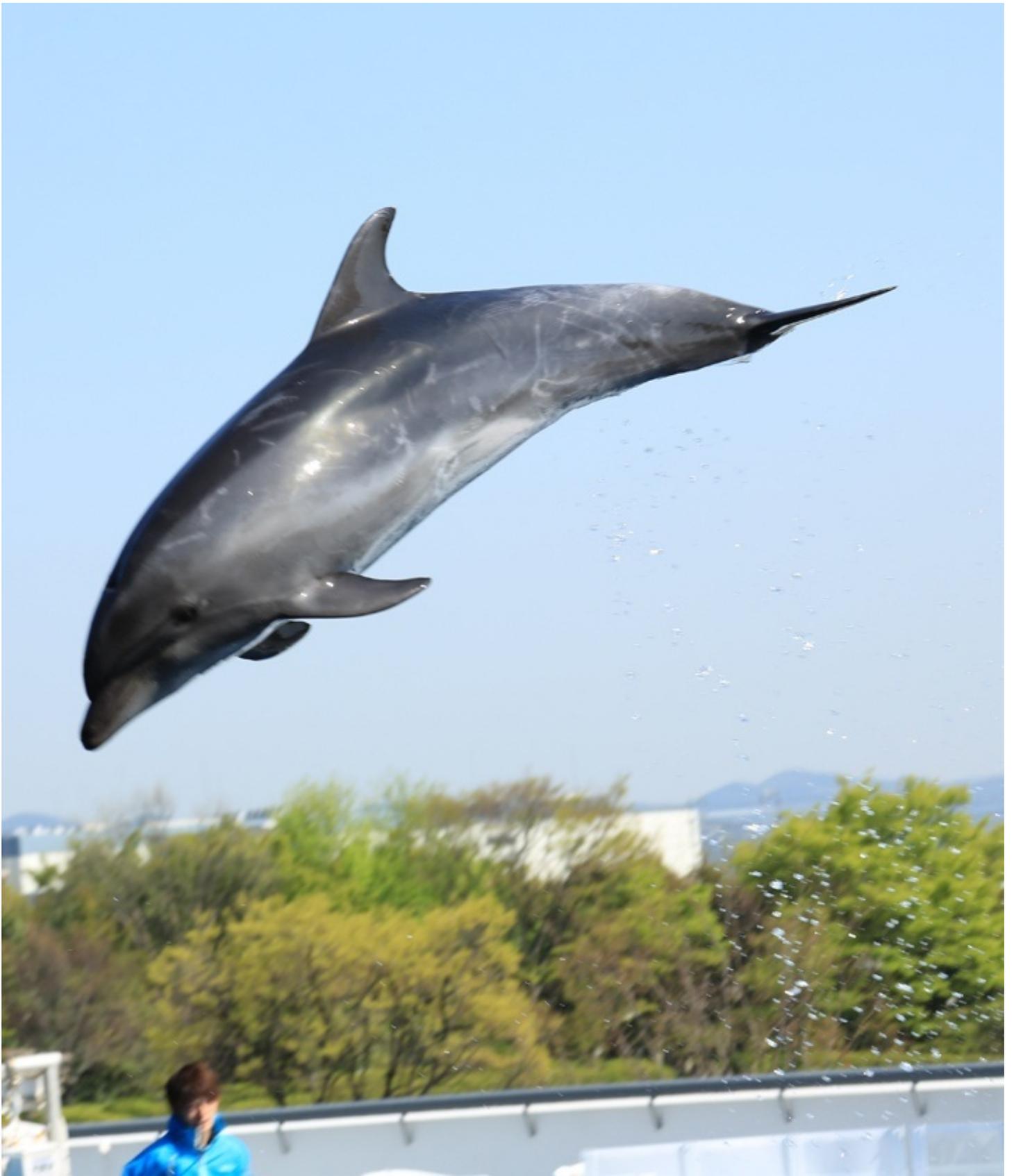
一匹ぐらい、このよろによろが絡みまくってるのが
有りそうな気がするんですが、いませんでした。





”おねえさん、今晚ボクと飲みに行かへん？”
”デコにやいとすえてほしいんか、コラ。”

なんて会話が有るわけが無い。

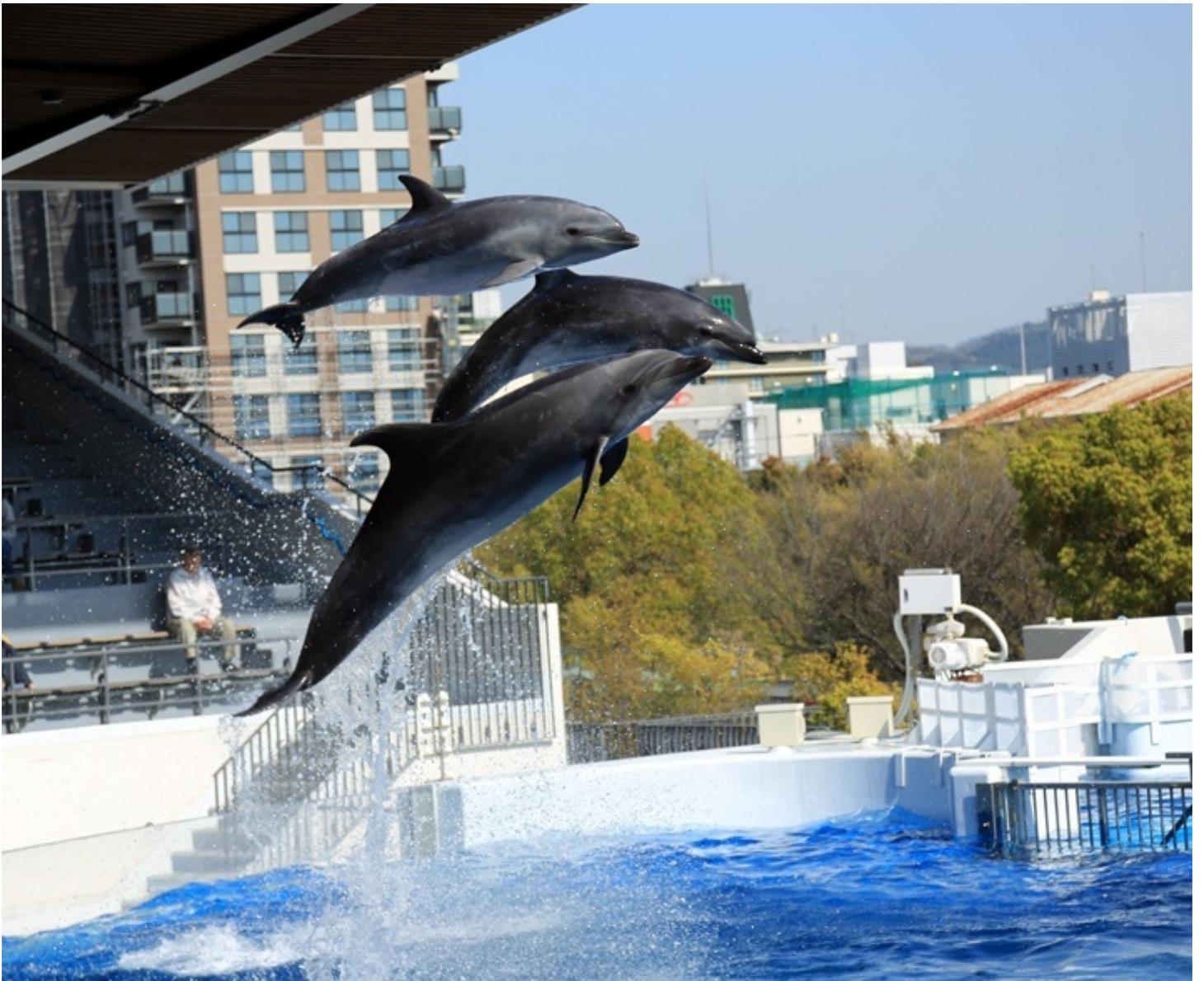


ジャンプ!
の向こうは東山。



背面跳びー！

の向こうは新幹線。



コンビネーション・ジャンプ！

の向こうは大宮通り。ちょっと歩けば東寺。
、、、どうにも地理的な違和感が付いて回って。



ちょっどこじんまりとしてしまっているところが、さびしいけれど、
また来たいところが一つ増えました。

ペンギンに餌をやろうとして、指を噛まれてみたい。。。

「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/87350>
 Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです tou+1」 <http://p.booklog.jp/book/87057>
 Photo「花水硝」 <http://p.booklog.jp/book/86821>
 「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/86636>
 Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです tou」 <http://p.booklog.jp/book/86313>
 「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/86112>
 Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです Qu」 <http://p.booklog.jp/book/85799>
 「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/85513>
 Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです nYa」 <http://p.booklog.jp/book/85209>
 「passer un après-midi 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/84911>
 Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/85209>
 「Travelogue ep.02 桜巡り」 <http://p.booklog.jp/book/84667>
 「黄金の麦畑」
 1.Largo <http://p.booklog.jp/book/58662>
 2.Allegro molto <http://p.booklog.jp/book/83865>
 3.Adajo (連載中)
 「黄昏の王国」
 イーリアス編 <http://p.booklog.jp/book/49612>
 アリシア編 <http://p.booklog.jp/book/51254>

Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/84165>
 Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/83952>
 「Travelogue ep.01」 <http://p.booklog.jp/book/83694>
 Photo「Hina」 <http://p.booklog.jp/book/83499>
 Photo「空と雪と、京都の路地は奥に深いです itu」 <http://p.booklog.jp/book/82880>
 Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです vo」 <http://p.booklog.jp/book/82643>
 Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです vo」 <http://p.booklog.jp/book/82160>
 Photo「からくれないに ni」 <http://p.booklog.jp/book/81713>
 Photo「bleu, jaune, vermillion」 <http://p.booklog.jp/book/81111>
 Photo「H.45」 <http://p.booklog.jp/book/80229>
 Photo「Fly me to Paris I～XIV」
 Photo「祇王 こけのころも」 <http://p.booklog.jp/book/74864>
 Photo「空と雨と6月と」 <http://p.booklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」 <http://p.booklog.jp/book/73051>
 「ネガティブズ」

Photo「空と僕と自転車とn」 <http://p.booklog.jp/book/72996>
 Photo「空と僕と自転車と」 <http://p.booklog.jp/book/72092>
 Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」 <http://p.booklog.jp/book/71344>
 Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいすら」 <http://p.booklog.jp/book/70700>
 Photo「空と雲と、ときどき霧の街に行く」 <http://p.booklog.jp/book/70137>
 Photo「空と月と、夜桜と」 <http://p.booklog.jp/book/69415>
 Photo「空と木と、ときどきの桐蔭」 <http://p.booklog.jp/book/68722>
 Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.booklog.jp/book/65536>
 Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>
 Photo「空と木とたまに月」 <http://p.booklog.jp/book/62540>
 Photo「からくれないに」 <http://p.booklog.jp/book/61473>
 Photo「空と雲と、ときどき月」 <http://p.booklog.jp/book/36294>
 Photo「夢みる彼」 <http://p.booklog.jp/book/45780>

— 僕ガソシヤーズ —

「僕が彼女に殺された理由」 <http://p.booklog.jp/book/31906>
 「僕と彼女の選別」 <http://p.booklog.jp/book/35498>
 「僕と彼女は、喜びを見つけれなかった」 <http://p.booklog.jp/book/36101>
 「僕と彼女の、ときどき探し続ける」 <http://p.booklog.jp/book/36617>
 「僕と彼女の、複雑な関係者たち」 <http://p.booklog.jp/book/37238>
 「僕と彼女の、単純な関係式」 <http://p.booklog.jp/book/37731>
 「僕と彼女の、校庭で」 <http://p.booklog.jp/book/38409>
 「僕と彼女の、夏」 <http://p.booklog.jp/book/38977>
 「僕と彼女の、アリア」 <http://p.booklog.jp/book/46524>
 「僕と彼女のインベンション」 (次回)

— その他 —

傘がない <http://p.booklog.jp/book/69798>
 夕暮れの赤ちょうちん <http://p.booklog.jp/book/42024>
 いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>
 サマータイム・ブルース <http://p.booklog.jp/book/34054>
 危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>
 デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>
 インタルエンス あのころの僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>
 花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>

詞画集「ただ憧れだけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>
 画集「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>

